

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	メディア分析論特論第一		
英文授業科目名	Topics on Media Contents Analysis 1		
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	兼子 正勝		
居室	西6-409		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kaneko@hc.uec.ac.jp	http://oz.hc.uec.ac.jp/

【主題および達成目標】
<p>メディアシステムはネットワークの普及によって大きく変わったが、そのあたらしいメディアシステムをどう理解するか、あるいはそのなかでどのようにコンテンツを制作・運用するかという広い意味でのメディアデザインについては、まだ明確な知が形づくられていないわけではない。</p> <p>本講義では、映像メディアを事例にとり、ひとつのメディアシステムのなかで知がどのように形成され、次の時代に引き継がれようとしているかを検討することによって、より広範なメディアデザインについての知の獲得を目的とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
とくになし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
電気通信学部人間コミュニケーション学専攻専門科目「メディアリテラシーA」「メディア文化論」「映像論」

【教科書等】
授業中に資料を配付

【授業内容とその進め方】
<p>内容はおおむね以下の通り。</p> <p>講義・文献購読とともに、学生による調査・発表・ディスカッションを重視する。</p> <p>1) イントロダクション 2) 問題提起</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

- 3) 写真と映像メディアの黎明期
- 4) 映像を思考する
- 5) 映像で思考する
- 6) 映像メディアの限界点
- 7) マルチメディアデータベースと知の形成

【成績評価方法および評価基準】

平常点と発表・レポートによる総合評価

【オフィスアワー：授業相談】

水曜6限、木曜3限

【学生へのメッセージ】

活発なディスカッションを期待します